



インターネットでの情報提供

提供予定日 8月22日

平成24年8月21日(火) 県政記者クラブ・中濃記者会配付資料

所属	担当	氏名	電話(内線)
岐阜県博物館	人文係	南本有紀	0575-28-3111(302)

岐阜県博物館 特別展

# 岐阜、染と織の匠たち

## 人間国宝三人展

を開催します。



山田貢 ひとこしちりめん 一越縮緬訪問着「ながれ」1957年  
(世田谷美術館蔵) 撮影/上野則宏

この秋、岐阜県出身の人間国宝の染織家3人の展覧会を開催します。

工芸の最高峰である人間国宝(重要無形文化財保持者、工芸技術部門各個認定)のうち本県出身者は、いままでに9人(故人を含む)。うち6人はやきもの本場である地域性を反映した陶芸作家です。しかし、残りの3人全員が染織家であることは意外に知られていないのではないのでしょうか。

岐阜市生まれの山田貢(友禅)、郡上市生まれの宗廣力三(紬縞織・緋織)、関市生まれ・在住の土屋順紀(紋紗)の代表作が初めて一堂に会します。長良川の流りに生まれ、三者三様に研ぎ澄まされた美の競演にご期待ください。

- ◇期間 : 平成24年9月21日(金)~11月4日(日) [39日間]  
前期 9月21日(金)~10月14日(日) / 後期10月16日(火)~11月4日(日)  
※展示替えあり
- ◇開館時間 : 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)  
※ただし9月21日(金)は午前10時30分~、11月1日(木)以降は午前9時30分~  
岐阜県博物館 本館4階 特別展示室
- ◇会場 : 関市小屋名1989(岐阜県百年公園内) 電話 0575-28-3111(代)  
URL <http://www.gifu-kenpaku.jp>
- ◇観覧料 : 10月28日(日)まで 一般600円(520円)、大学生300円(200円)、高校生以下無料  
10月30日(火)から 一般320円(260円)、大学生110円(50円)、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金
- ◇休館日 : 月曜日 ※ただし、10月8日(月・祝)は開館、10月9日(火)は休館
- ◇主催 : 岐阜県博物館、中日新聞社
- ◇後援 : NHK岐阜放送局
- ◇協賛 : カイindaストリーズ株式会社、岐阜県JAグループ、鍋屋バイテック会社、フェザー安全剃刀株式会社、公益財団法人せきしん地域振興協力基金

## 【作家プロフィール】

### ① 山田貢(やまだ・みつぎ 1912-2002) ※1984 人間国宝(重要無形文化財保持者)認定 (友禪)

岐阜市生まれ。大正15年(1926)14歳で友禪作家・中村勝馬(国指定重要無形文化財「友禪」保持者)に師事、友禪・臈纈を学ぶ。昭和22年(1947)第32回二科展工芸部に初入選、26年(1951)友禪作家として独立。32年(1957)第4回日本伝統工芸展に初出品初入選、46～54年(1971-79)東京芸術大学美術学部講師。52年(1977)より日本工芸会主催による茶屋染帷子の復原事業を指導、糸目糊を研究。江戸友禪の有力作家として活躍した。平成10年(1998)岐阜市ふるさと文化賞受賞。伝統的な糯米糊による糸目、堰出し、叩き等の手法を生かした作風で、糸目糊の達人と評される。麦穂文や魚網文が有名で、とくに後者の風シリーズが代表作。

### ② 宗廣力三(むねひろ・りきぞう 1914-89) ※1982 人間国宝(重要無形文化財保持者)認定(紬 縞織・緋織)

郡上郡八幡町(郡上市)生まれ。昭和12年(1937)修業道場・凌霜塾主事となり、開拓農民の育成に従事。戦後、那留ヶ野で開拓農業を営み、郡上の地織手紡産業の復興を計画、22年(1947)京都市染織試験場長・浅井修吉に師事して染織を研究。家蚕の手紡糸・玉糸にインド・アッサム地方の恵利蚕糸の導入およびその飼育法や、植物染料、手織、緋、縞、帳等を調査した。28年(1953)郡上工芸研究所を設立、紬織の研修にあたる。33年(1958)陶芸家・河井寛次郎に出会い感銘を受ける。40年(1965)第12回日本伝統工芸展に初出品、45年(1970)第17回日本伝統工芸展で日本工芸会会長賞受賞。52年(1977)岐阜県指定重要無形文化財「郡上紬」保持者に認定。55年(1980)南足柄工芸研究所を開設。糸束を染め液に浸けて暈し染めを行う独自の「どぼんこ染」が有名。

### ③ 土屋順紀(つちや・よしのり 1954-) ※2010 人間国宝(重要無形文化財保持者)認定(紋紗)

関市生まれ。京都インターナショナル美術専門学校卒業後、志村ふくみ(国指定重要無形文化財「紬織」保持者)に師事。昭和56年(1981)関市に工房を構えて独立。生絹に植物染料で5段階に染め重ねた緋を施した独自の作風を確立する。その後、北村武資(国指定重要無形文化財「羅」「経錦」保持者)に学び、現在は、薄物を手がける。紋紗に緋の技法を加え、染めと織りが調和した独自の表現を生み出している。

平成6年(1994)第41回日本伝統工芸展初入選。8年(1996)、第43回日本伝統工芸展で日本工芸会総裁賞(最高賞)受賞。9年(1997)日本工芸会正会員。18年(2006)紋紗着物「月下溪韻」で文部科学大臣賞受賞。これらの功績が認められ、19年(2007)・21年(2009)日本伝統工芸展染織部門の第一次鑑査委員。21年(2009)紫綬褒章受章。

<b>■関連行事</b>	<b>「特別展 作家によるギャラリートーク」</b> ○講師: 土屋順紀	<b>要予約</b>
・日時	／ 平成24年9月23日(日) 13:30～14:30	
・場所	／ 岐阜県博物館 本館4階 特別展示室	
・参加料	／ 無料(ただし、入館料として一般520円、大学生200円が必要)	
・定員	／ 40名(入場制限することがあります)	
<b>■関連行事</b>	<b>特別展記念講演会「山田貢と岐阜」</b>	<b>要予約</b>
	○講師: 萩原いづみ(山田貢・次女、友禪作家)・中島利子(山田貢・姪、琵琶演奏家)	
・日時	／ 平成24年10月14日(日) 13:30～15:00	
・場所	／ 岐阜県博物館 マイ・ミュージアム棟3階 ハイビジョンホール	
・参加料	／ 無料(ただし、博物館本館に入館し、特別展を観覧する場合には、入館料として一般520円、大学生200円が必要)	
・定員	／ 120名	
	※いずれも、電話またはホームページでの事前予約が必要です(定員になり次第締切) 詳細については、博物館へお問い合わせください 【電話予約】受付期間 開催日1ヶ月前～前日／受付時間 8:30～17:15(休館日を除く)	

◎岐阜県博物館、岐阜県美術館、岐阜県現代陶芸美術館、高山陣屋の高校生以下の入館・観覧料は全て無料です。また、11月3日(文化の日)は「岐阜～ふるさとを学ぶ日」として一般・大学生とも無料。